

平成 21 年度 関西支部見学会報告

関西支部の恒例行事である見学会が1/30(土)に行われました。今回の見学会では Ship of the year 2008 である Megumi に乗船し、琵琶湖の名勝を巡るとともに、1/22(金)に行われた新年特別講演会において講演を頂いた琵琶湖環境科学研究センターの熊谷道夫氏の御協力のもと同センターの ROV を琵琶湖に投入し湖底の様子を観察しました。

当日は快晴。総勢 55 名の参加者がありました。琵琶湖は古くは若狭湾からの物資の輸送路としても利用されました。大津や堅田は湖上交通の港湾都市として栄えたことで有名です。大津港を出港し琵琶湖大橋を通過後、琵琶湖でも比較的浅いポイントに到着。ここで、熊谷氏により ROV の潜航のデモンストレーションが行われました。なかなか見ることのできない琵琶湖の湖底は非常に珍しかったと思います。その後、参加した子供たちが実際に ROV を操作するという非常に貴重な体験をしました。

本見学会ではミシガン・ピアンカ・Megumi を建造した杵兵衛造船所も見学しました。1月末からミシガンが入渠しており普段見ることのできないミシガンの船底を見学することができました。

最後は琵琶湖環境科学研究センター前に着船し琵琶湖の環境をモニタリングするなどして活躍している AUV 「淡探」を見学して参りました。

琵琶湖は関西地方の大切な水瓶です。普段なかなか見ることができないこのような機会によって参加者全員が琵琶湖をより身近に感じるとともに琵琶湖に対する理解が一層深まった一日であったかと思えます。

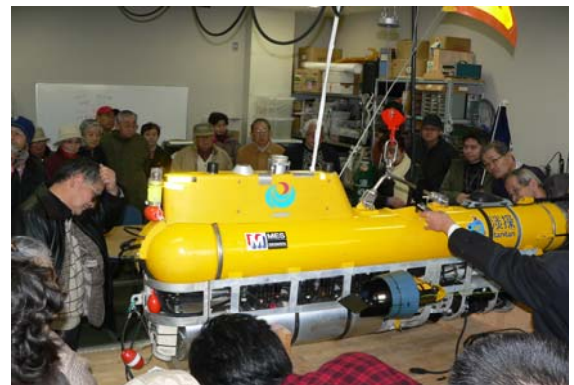
記 会務委員 二瓶 泰範 (大阪府立大学)



写真：参加者全員の記念撮影



ROV の操作を指導する熊谷氏と夢中になって操作する子供たち



淡探見学